

2025年 3月28日

京成電鉄株式会社

東京藝術大学学生を表彰 2024年度「京成電鉄藝術賞」授賞作を決定

—教育研究の一層の推進と優れた芸術文化活動の充実に貢献—

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、国立大学法人東京藝術大学(所在:東京都台東区、学長:日比野 克彦)学生の卒業・修了制作を対象としている「京成電鉄藝術賞」の2024年度授賞作品を、東京藝術大学 学部4年 建築専攻 市原 舞(いちばら まい)氏の修了制作「きみのみち みんなのみち」に決定し、授賞しました。

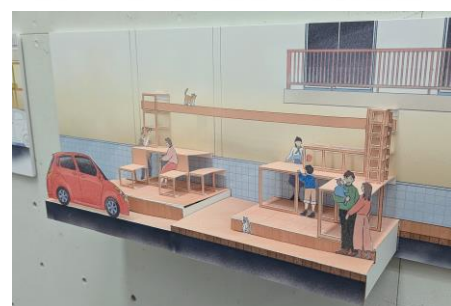
「京成電鉄藝術賞」は、2017年6月に締結した「国立大学法人東京藝術大学と京成電鉄株式会社との連携・協力に関する包括協定書」に基づき、2020年3月に創設し、教育研究の一層の推進と優れた芸術文化活動の充実に目的として、同学学生の卒業・修了制作のうち優れた作品を表彰しています。

2024年度授賞作品「きみのみち みんなのみち」は、当社の沿線でもある千葉県成田市を舞台として、地域の人々に喜ばれるまちづくりについて絵本を用いて表現した作品となっており、中期経営計画「D1プラン」の重点施策として「活力が持続するまちづくりの推進」を掲げている当社の想いに合致することから、京成電鉄藝術賞の授賞作品としました。また、同作品を紹介するポスターを制作し、京成上野駅構内で一定期間、掲出します。

京成電鉄では、今後も事業エリアの皆さまと共に、地域社会の発展や芸術文化の振興を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



2024年度授賞作品「きみのみち みんなのみち」
東京藝術大学 学部4年 建築専攻 市原 舞氏 作



以上

【参考①】 東京藝術大学と京成電鉄との連携について

東京藝術大学と京成電鉄では、2017年6月26日付で、文化・観光の振興等の分野で緊密な協力関係を築き、地域社会の発展、ひいては日本の芸術文化の振興を図ることを目的とし、京成エリアの魅力向上や文化・観光の振興に関して連携・協力を推進することに合意し、包括協定を締結しました。

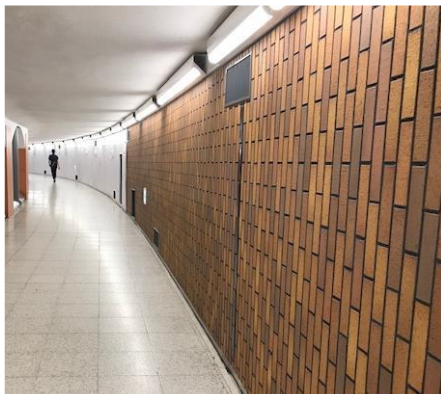
これまで、東京都選定歴史的建造物である「旧博物館動物園駅」の駅舎改修における出入り口扉のデザイン(2018年)、京成上野駅のリニューアルに際しての発車メロディーの作成(2019年)、京成上野駅地下連絡通路のリニューアル(2020年)、京成上野駅への駅ピアノ設置(2022年)、旧博物館動物園駅をデジタルアーカイブした「デジタルハグドウ駅」の公開(2022年)など、各分野での連携を進めています。



旧博物館動物園駅出入り口扉
(東京藝大美術学部長(2018年当時)・日比野克彦氏デザイン)



京成上野駅発車メロディー
制作の様子



リニューアル後の上野連絡通路



京成上野駅ピアノ設置 ミニコンサートの様子



「デジタル ハグドウ駅」

【参考②】過去の京成電鉄藝術賞作品について



＜2019 年度＞
日本画専攻 小田川史弥氏
「遠すぎて」



＜2020 年度＞
油画専攻 諏訪葵氏
「不可逆なオーバーラップ」



＜2021 年度＞
彫刻専攻 竹野優美氏
「めぐりの詩」



＜2022 年度＞
漆芸専攻 下村史氏
「live」



＜2023 年度＞
デザイン専攻 中山胡桃氏
「愛すべきじんるい」